

# 計画の考え方

## 計画の理念

認知症があってもなくても都民一人ひとりが相互に尊重し、支え合いながら共生し、  
認知症になってからも尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる東京の実現

認知症は誰もがなり得ることから、都民の認知症に対する理解を深めることにより、認知症のある人やその家族等が良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として地域とともに創っていく必要があります。



### 5つの重点目標

#### 【社会参加】

① 認知症のある人・家族等の参画と社会参加の推進

#### 【地域づくり】

② 認知症のある人も含めた都民一人ひとりが安心安全に、希望を持って暮らすことのできる地域づくり

#### 【相談支援】

③ 認知症のある人・家族等に対する適切な支援

#### 【治療・ケア】

④ 認知症の早期診断・早期支援、治療・ケア（介護）の充実

#### 【研究】

⑤ 認知症の発症メカニズムの解明、診断・治療、共生社会の推進等のための研究

### 重点目標を推進するための基本的施策

1 認知症のある人に関する都民の理解の増進等

2 認知症のある人の生活におけるバリアフリー化の推進

3 認知症のある人の社会参加の機会の確保等

4 認知症のある人の意思決定の支援及び権利利益の保護

5 相談体制の整備等

6 認知症の早期の気づき、早期診断・早期支援

7 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

8 研究等の推進等